

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

平成 27 年 2 月 27 日 第 4 巻（第 8 号）

発行：東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

もくじ

1. バトンⅢ発行
2. 災害ソーシャルワーク研修（大阪会場）を終えて
3. 「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」のインタビューを受けて
4. 災害支援チームからのお知らせ
5. 災害支援ニュース発行のお知らせ
6. あとがき

**「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ」
が発行されました。**

2015年2月9日

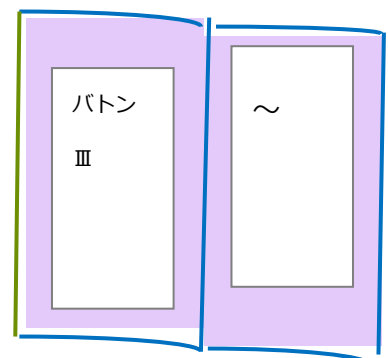
ついに発行されました。

ホームページをご覧ください！！

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ」 発売中！！

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」 発売中！！

詳細は“3. 災害支援チームからのお知らせ”をご参照ください。



1. バトンⅢ発行

.....

～ 「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ」 刊行のご報告と購入のお願い

～

日本医療社会福祉協会 災害支援チーム
バトンⅢ編集委員長 山田美代子

2011年3月15日の東日本大震災に対する災害対策本部が立ち上がってから本協会の災害支援のバトンがスタートしました。私は、現地のスターターとして、歩みを始めました。医療ソーシャルワーカーという職能集団の社会貢献事業として石巻市を中心とした災害支援活動のバトンは、多くの医療ソーシャルワーカーによって繋がれてきました。

今回のバトンⅢは、2013年1月～2014年3月までの活動記録です。協会の災害支援体制は、現地の支援活動、石巻市虐待防止センター、石巻市社会福祉協議会の3組織への拡大という転機を迎えた時期です。それらの活動を、災害支援チームの会議録、現地の日報、全国からの協力員の報告書、サポート担当者の記録から抽出し、事実(主観・客観)をお伝えすることに注力しました。さらに、協会外部および内部の16名からの執筆を頂き、コラム欄を多く設けさせていただきました。ご執筆を頂きました皆様ありがとうございました。

バトンⅢの構成を紹介させていただきます。

第1章 災害対策支援チーム

2013年度の組織の再編成、現地常駐者へのサポート体制、協力員体制の変更、チーム全体としての活動報告

第2章 日本医療社会福祉協会 石巻支援拠点

個別支援、引きこもりの子を持つ親の会、男の遊ぼう会、石巻圏域MSW事例検討会、RCIとの共同企画勉強会、石巻仮設支援連絡会、復興公営住宅支援に伴う協力員募集等の活動報告

第3章 虐待防止センター

石巻虐待防止センターの設置と専門職派遣、専門カウンセラー相談事業、チームワークの促進、活動の振り返り等

第4章 石巻市社会福祉協議会

石巻社会福祉協議会の災害支援活動、地域福祉コーディネーター事業とアドバイザー派遣、地域福祉アドバイザーの役割、エリアの活動、MSWとしての支援活動、活動の振り返り等

第5章 都道府県協会の取り組み

定期的・計画的に災害派遣に取り
組む県協会からの報告、

資料編

となっております。

どうぞ、ご購入いただき、会員の協力で繋
がれた医療ソーシャルワーカーのバトンの
足跡をご理解ください。そして、長期戦とな
る復興期の支援の多領域にバトンを繋いで

参りましょう。

最後に、発刊を後押ししてくださった会長
の佐原まち子氏、災害支援チーム統括の笹岡
真弓氏、社会活動部執行理事の葛田衣重氏、
多忙中の中万難を排して編集作業に取り組
んでくれた編集委員会の主力メンバー佐藤
杏氏、東妙香氏、富永千晶氏、畑中良子氏、
事務局の金子小夜子氏に感謝申し上げます。

2. 災害ソーシャルワーク研修（大阪会場）を終えて

高崎総合医療センター 篠原純史氏 報告

平成27年2月14日(土)～15日(日)
の2日間、大阪大学医学部附属病院 未来医
療センターにて「災害ソーシャルワーク研修」
が開催されました。本研修は今年度より開催
しており、平成26年10月4日(土)～5
日(日)に文京学院大学にて開催された災害
ソーシャルワーク研修(東京会場)に続いて、
2回目の開催となりました。大阪会場では、
北は北海道から南は高知県まで、24名の受

講生に参加いただきました。



《1日目》

講義1「災害ソーシャルワークに臨む姿勢」

講師：笹岡真弓 氏（文京学院大学）

講義2「支援対象の理解とソーシャルワーク」

講師：佐藤杏 氏（国立成育医療研究センター）

講義3「ソーシャルワークに必要な法制度」

演習1「制度の理解と活用」

講師：篠原純史 氏（高崎総合医療センター）

講義4「外部支援者の理解と連携構築」

演習2「多職種カンファランスにおける役割」

講師：山田美代子 氏（西片医療福祉研究会）

《2日目》

講義5「災害支援者が受ける影響」

講師：山田美代子 氏（西片医療福祉研究会）

講義6「支援者を現地に送り出す側の準備／職場マネジメント」

講師：佐原まち子 氏（WITH 医療福祉実践研究所）

演習3「災害時のソーシャルワーク演習」

講師：佐原まち子 氏（WITH 医療福祉実践研究所）

2日目の講義前には、協会石巻事務所・現地責任者の畑中良子氏より現在の石巻市での支援活動についてご報告いただきました。2日目の演習では「災害時の記録・サマリー」「支援者間の連携」「内部支援者と外部支援者・多職種カンファランスにおける役割」「災害が支援者に及ぼす影響・同僚による支援の効果」「災害現地へ支援者を派遣できる職場マネジメント」の内容を中心に行い、2日間

の研修での学びを深めました。

本研修では、今後の災害に備えるため、本研修の受講者が、今後、災害対策の要になって下さるよう養成することも目的にしています。多くの皆様の本研修への参加をお待ちしています。また、本研修では製本したばかりの「バトンⅢ」が販売されました。こちらぜひ、多くの皆様にお読みいただければ幸いです。



3. 「ソーシャルワーカーの“声” プロジェクト」のインタビューを受けて

石巻現地責任者 畑中 良子

ソーシャルワーカーの“声” プロジェクト とは福祉系大学経営者協議会「東日本大震災

復興支援プロジェクト」の一つです。

福祉系大学経営者協議会は、福祉系大学の経営に携わる責任者が一堂に会し、社会福祉専門職の社会的地位の向上、社会福祉についての社会的認知の向上、日本の社会を支える社会福祉人材育成教育の発展等を推進することを目的として、平成 21 年 6 月に設立され、全国の福祉教育を実施する 20 大学が加盟されています。

福祉系大学経営者協議会においても、東日本大震災に対する取り組みを行うべく、東北福祉大学・淑徳大学・中部学院大学・龍谷大学・関西福祉科学大学（委員長校）で構成される「復興支援委員会」を立ち上げ、「復興支援に関して何ができるか」を協議した結果、「東日本大震災復興支援プロジェクト」を実施することとなったそうです。



関西福祉科学大学 HP より引用

2月10日、午前10時に大学生4名と、大学院生1名、教員2名が事務所を訪れてくれました。学生さんは緊張した面持ちでインタビューが始まりました。

内容は災害直後から今日まで行ってきた支援活動や多職種や他機関との連携方法、現在の課題、住民さんから寄せられる生活上の相談内容についてなどの聞き取りがありました。多職種や他機関との連携についてはソーシャ

ルワーカーの認知度が低いために苦労した事、一つずつ実践する中でソーシャルワーカーへの理解が深まり、連携がとりやすい体制ができてきた経過などについて話しました。課題としては支援者がいる事で住民さん自身が自立（自律）する力を阻害している可能性がある事、既存の制度では支援できない方がいる事、今後の生活場所を決められていない方がたくさんいる事を話し、今後の生活の見通し

を立てられない方についてどのような理由が考えられるのか？について一緒に考えました。

学生さんより「今までのインタビューの中で『生活の場が安定しないと暮らしが安定しない』という事を聞きました。」と語られました。それは今、石巻で感じる事です。人は安心して暮らせる場所が確保されていてこそ、身体的にも健康になれ、精神的にも平穏になれるのではないのでしょうか？その『生活』をどのように支援していくか、一緒に考えてい

けるのか？が私たちの活動の基本だと思います。

もうすぐ、震災から4年が経とうとしています。被災地から離れた地域に住んでいる方にとっては東日本大震災が風化していつていると感じます。現地にいるスタッフとして、現状を伝える事は大切な役割の一つだと思っていますので、今回、このような機会を与えてくれたことに感謝します。

次の災害へ備える事へ繋がる事を願います。

4. 災害支援チームからのお知らせ

.....

【1. 協力員募集】

現 地

現在、1日にあたり上限2から3名で募集しております。

現地までの旅費・交通費は自己負担をお願い致します。

活動日程につきましては下記のようにお願い致します。

期 間： 平日3日以上、

受入日： 期間を満たす曜日 (土、日、祝日は活動致しません。)

但し、**上記以外であれば支援活動が可能な場合は現地担当**までご相談ください。

※ 出発2日前までには(到着時刻等を含めて)は必ず現地担当にご連絡ください。

今後、活動に参加される方でその年度初回参加時には、簡単な資料を郵送致します。

ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

事 務 所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1～2ヶ月に1回でも構いません。

ご協力お願い致します。

【2. 災害支援チーム会議開催のお知らせ】

3月25日(水) 19:00～21:00 於：協会会議室

【3. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』、
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』、
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ』の

販売を行っています！

発災から2011年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011年10月から2012年12月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地SWとの協働の記録を『バトンⅡ』に、

2013年1月から2014年3月までの災害支援チーム、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、虐待防止センターでの支援・石巻市社会福祉協議会での支援、現地SWとの協働の記録を『バトンⅢ』にまとめました。

尚、売り上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

バトンⅡ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=47

バトンⅢ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=54



【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願ひいたします。

URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

5. 災害支援ニュース発行のお知らせ

.....

次回発行予定 3 下旬予定

6. あとがき

.....

災害支援チーム事務局から

担当 西田知佳子

平成25年の5月から、石巻市の依頼により「引きこもりの家族の会」を月2回行っています。その会に2年近く参加している C

さんが先日手作りのお雛様を持ってきてくださいました。(写真) お雛様は片手に乗るほどの大きさです、しっかりとした重みがあ

り、何とも言えぬ味わいのあるお雛様でした。
Cさんは昨年どなたからいただいたそうですが、その時にどうやって作るのだろう？とそっと糸をほどき、その仕組みを会得して、今年は仮設の方々に配るために教会の皆さんと作ったとおっしゃっていました。仮設の方々はどんなに喜ばれたことでしょう。来年2月忘れずに殺風景な東京の事務所に飾ろうと思います。



東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 27 年 2 月 27 日第 4 巻（第 8 号）
作成 日本医療社会福祉協会
災害支援チーム事務局